

# 喜びを持って忍耐しましょう！

初めに：静かな場所でやってみましょう。聖句を読み、その情景の中に自分を置きます。

場面を思い描き、声を聞きます。登場人物の気持ちになってみます。

目の前で起きている出来事のように感じ取りましょう。

おもな登場人物：使徒パウロ、シラス、下女、下女の主人、<sup>ろうばん</sup>牢番

あらすじ：パウロとシラスは、伝道活動をしたため牢屋に入れられるが、後に地震が起きて、解放される。

## 1 場面について考えましょう。—使徒 16:16-40を読みましょう。

次の人たちはどんな表情をしていたと思いますか。

下女の主人(もう一度、19-22節を読みましょう。)

---

<sup>ひとや</sup>獄の中にいたパウロとシラス(もう一度、25節を読みましょう。)

---

「大きな地震」が起きた時、獄の中ではどんな事が起き、どんな物音がしたか、書いてみてください。(もう一度、26、27節を読みましょう。)

---

28-31節には、牢番に語った使徒パウロの言葉が記されていますが、パウロはどんな口調で話したのでしょうか。

---

## 2 もう少し調べてみましょう。

その地震は単なる自然現象でしたか。答えとその理由を述べてください。(ヒント：使徒 4:31；5:19；12:7を読みましょう。)

---

---

牢番は、パウロとシラスが親切に接してくれたことに驚いたと思われれます。なぜでしょうか。(もう一度、使徒 16:23, 24を読みましょう。)

---

---

パウロとシラスが迫害された結果、どのように多くの人に音信が伝わりましたか。(ヒント：もう一度、25節と33節を読みましょう。)

---

---

---

3 学んだことを当てはめましょう。

学んだことを書き出してください。

どうすれば苦しみを忍べるか。

---

---

忍耐すれば、どんな益を受けられるか。(ヤコブ 1:2-4を  
読みましょう。)

---

---

4 自問してみましよう。

特にどういう時に忍耐する必要があるだろうか。

---

---

苦しみを忍んでいる時でもパウロに倣って、他の人にどの  
ように接することができるだろうか。

---

---

---

自分にとっていちばん大切なのはどんな点だろう。なぜだ  
ろうか。

---

---

---

やってみましょう：自分がその牢番だとして、この記述  
中の出来事について書いてみてください。パウロとシ  
ラスを留置した時や、地震を目撃した時、そして最終的  
に家族そろってバプテスマを受けた時の気持ちも描  
写してください。

